

その284

クローズアップ21

山梨県唯一のコウライグリーン サンメンバーズカントリークラブ

来場者に思い出の時間を提供し、初心者もゴルフ参入しやすいゴルフ場



サンメンバーズCC
豊田茂良取締役支配人

サンメンバーズカントリークラブ（18H、山梨県上野原市）は、気候に恵まれた中で一年を通してプレーを楽しめる丘陵コース。グリーンはコウライ、ベント2グリーン。

ゴルフ場の年間来場者数（23年度）は約4万7千人で来場者率はメンバーが55％60％、ビジター40％45％、女性比率は約15％。メンバー平均年齢は60～65歳で、各年代別比率は50代約20％、60代約30％、70代約30％、その他は約20％となっている。来場者の約95％は県外で、主に東京都の多摩・八王子方面からが中心とのこと。

また、若者ゴルフアーに対してネット予約枠を出しており、主に30代・40代の来場者が多いという。ポータルサイトの他に

自社独自のWEBから予約が可能で利用率も非常に高いそうだ。クラブの主な取り組みについて豊田茂良取締役支配人よりお話を伺ったので内容を紹介していきたい。

来場者・スタッフも幸せの価値観を共有し、社員が「時間を投資する」職場環境へ

サンメンバーズCCでは、一生懸命遊び、楽しむことをモットーに来場者、スタッフで幸せの価値観を共有できることを意識しているという。豊田支配人はゴルフ場の職場環境づくりについて次のように話した。

「当クラブは思い出のある時間をお客様に与えることでリピーターを獲得することを基本方針としてやっています。

従業員が「時間を投資する」ためには、まず職場の環境を整備することです。社員の方も自分の貴重な時間をゴルフ場に投資していますので、それに見合うような経験や成長などを実感していただければと思います。

従業員教育については、基礎的事項をできる限り少なくして

います。まずは、立ち止まってお辞儀をする「停止礼」と挨拶の発声をしてからお辞儀をすることを特に意識させること。ながら挨拶ですと、先方に挨拶を伝えた時に初めて向こうはこちらに向くので、一緒に頭を下げると頭を下げるのが見えません。そのため、発声をして向こうがこちらを意識してから頭を下げることを基礎的なマナーとして伝えていきます。

それから、接客マナー研修については、外部の会社に依頼を



コロナ前は10月末にハロウィンパーティーを開催

して日にちを分けて実施しています」

また、サンメンバーズではコロナ禍前までレクレーションを積極的に行っており、16年から19年の10月末にハロウィンパーティーを実施した。初回のパーティーは、時間や参加人数を制限し、コースをお化け屋敷にして乗用カートで周るお子さんたちを含めた来場者をスタッフが驚かすという内容という。このイベントは、コスプレダンスパーティーやパターゲームなどもあり、メンバーやスタッフと一緒に盛り上がったとのこと。そのほか、従業員参加型イベントのフラダンスショーなども行っている。



外国人キャディは開場当初から積極的に採用

同CCは年間110回の競技イベントを実施しており、

のほかに、従業員参加型イベントのフラダンスショーなども行っている。

年4回で会員限定の無料イベント「サンフレンド感謝祭」で会員同士の親睦を深めている。

キャディについては、指名料を導入しており、2〜4名でも均等に支払いできるよう1組2400円としている。この金額はそのままキャディに入るのキャディのモチベーションも高まるとのこと。キャディの指名は女性会員からの指名が多いそうだ。外国人採用は開場当時よりブラジル人を中心にキャディ採用を積極的に行っているという。外国人従業員にはキャディ業務だけでなく、マスター室、コース管理などできる限りの仕事を与えるそうだ。なお、3年前に外国人従業員の環境改善に向けて社員寮の全面改修を実施している。

19年8月に公式SNSを開設。ゴルフに特化した「なでしこ☆サンメンゴルフ部」も立ち上げ

同CCは、ゴルフ場の知名度を上げるために19年8月より

InstagramとTikTokを開設した。SNS管理は支配人が行っているという。

「当社では、目的別に複数アカウントを運営しています。Instagramでは、ゴルフ場アカウント(Summers)となでしこ☆サンメンゴルフ部(nadeshiko-smc)がメインです。他にジャックバニーサンメンバーズ(jackbunny_summers)のアカウントもあります。

Instagramでは、インスタグラマーの方にプレーの招待DMを送りまして、実際にプレーをしてゴルフ場の紹介をしてもらい、定期的にコンペを開いていただいています。投稿では画像の鮮やかさを重視し、リール(動画)ではTikTokで使っているものをそのまま使用しています。

TikTokでは、企業イメージを意識しました。「イイね」のコメントでイメアップや新規ゴルフ参入にもつながります。先日に行った面接でも『TikTokを見て応募しました』という方もいましたし、『TikTokをきっかけ



LINEをきっかけに従業員の応募や新規ゴルフ参入も増えている



「なでしこ☆サンメンゴルフ部」は来年からコンペを毎月実施するという

に入会された初心者のお客様もいらっしやいました。

「TikTokは独特のアルゴリズムで初心者に優しいアプリだと思えます。Instagramの投稿やリールでバズることは難しいですが、こちらではユーザーを一律に拡散してくれるので、作ったものがフォロワーにつながるよりもSNS活動に積極的になりますね」（豊田支配人）

「なでしこ☆サンメンゴルフ部」は、女子会が漠然としたイメージになるため、参加者の帰属意識を高めることを目的に、ゴルフに特化した女子ゴルフ部を今年に立ち上げたという。現在50名程のメンバーが在籍。ゴルフ部コンペは、夏と冬を除いた10カ月で行われ、来年からは毎月行われる予定だ。

育児でのゴルフ離脱者へ向けママゴルを20年7月より導入

同C.C.ではママゴルを20年7月より導入している。

「以前から女性ゴルファーが育児のために離脱するというお話を聞きまして、お子さんを預かるサービスを試行錯誤しながら行いました。当初は、託児所の話も出たのですが、導入費用の点や保育士さんの確保も難しい状況でした。継続を検討しながら改めて外部調査をしたところ、山梨県でママゴルを行っているとところがありましたので、話を聞きながらママゴルを始めました。



ハウンドのスタートに合わせて、子どもを預ける「ママゴル」。パーティールームを使用し、利用者からも好評だ

ママゴルでは、申込者のスタート時間に合わせて保育士を派遣し、当ゴルフ場ではパーティールームでお子様ランチなど、要望に合わせてサービスを提供しています。利用料金は約1万8千円（変動あり）で平日・土日問わず、月平均2回の利用があり、概ね好評です。お子さんがじっとしてられない場合もあります。お母さまが温かく見守って下さるので感謝しています」（豊田支配人）

今後は安全を確保した上で、子ども向けに自然体験の提供を検討している。

山梨県ゴルフ場支配人会組織の意義付けとして5000人ゴルフフェスタを開催

山梨県のゴルフ場ではゴルフ場支配人会の主催で「5000人ゴルフフェスタ」を2007年から毎年夏に開催している。

ゴルフフェスタは、山梨県ゴルフ場支配人会組織の意義付けとしたイベント。健康寿命の延伸、認知症予防、生活習慣病リ

今年で18回目となる「5000人ゴルフフェスタ」



スクの減少などをコンセプトとしており、毎年春頃にイベント委員会に企画書を提出して支配人会で打ち合わせを行いながら参加者を募るといふ。今年と同CCを含めた34コースで開かれた。

また、県内のゴルフ場従業員を対象にゴルフコンペを年1回で開催。コンペは各ゴルフ場2人1組ずつで行われ、優勝チームが翌年の開催コースとなる。山梨県は支配人同士や従業員の仲が良く、毎年約50人が参加するという。

山梨県唯一のコウライG。練習G造成・グリーン表面補正や3番FWの排水設備改修も

近年のコースやクラブハウス改修については次のように説明している。

「当コースでは、コウライグリーンを使用していて、現在の山梨県下では唯一のコウライがメインのコースになります。昨年に3ホール（8番、14番、17番）でコウライへ芝種転換を実施しました。今年3月にはアウトコースの練習グリーン造成を行いました。造成については、まだ芝を張ったばかりですので9月以降に使用する予定です。」

また、日陰対策を目的に8番のコウライグリーン周辺と11番のテイニングエリアの状態改善を行いました。ラフには日陰に強い品種の野芝を取り入れています。11番ホールはフルバックティーが使えるようになり、またので、コースで使える範囲が約30ヤード延びました。8番ホールペントグリーンと13番ホールのコウライグリーンについては、グリーンモアで芝を刈った時に芝が削れることがあり、またので、昨年の春に表面補正を

しました。それから、3番ホールFWも長年の経過に伴い、排水溝が詰まっていたため、排水設備の改善を行いました。

クラブハウスについては、昨年初めに女性洗面所の全面改修をしました。今後は、男性用施設など老朽箇所を改修していく予定です」

また、20年に初心者から誰でも使用できるピンクティを設置した。18ホールの距離が3600〜3800ヤードと男性、女性問わずゴルフを始めたばかりのゴルファーがプレーをしやすい設定としている。なお、ティーチングプロの無料レッスンを



今年3月にアウトコースの練習グリーンを造成した

月2回の4組限定で主に第1、第3水曜日に行っている。最後に豊田支配人は今後の意気込みについて話した。

「ゴルフ場としては、これからもゴルフの楽しみ方や可能性を波及していきたいです。今後は会員様対象の無料イベントをもう少しカテゴリー別（世代、地域、入会年度等）に分けて、会員様のコミュニケーションを作れるような少子高齢化社会の受け皿としての役割を担いたいと思います。核となる施策は会員を中心にやっていきたいです。また、数年前に導入した自動精算機が高齢者の方からも好評でしたので、通信環境が改善できれば、顔認証などの非接触型サービスも検討していきたいと思っています」



全面改修された女性洗面所